

# JLEM News Letter Vol.35



## 第40回日本語教育方法研究会開催

発表57件 参加者250名

第41回は立命館アジア太平洋大学（別府市）にて

2013年3月9日（土）に日本語教育方法研究会 20周年記念シンポジウム「日本語教育方法を研究するとは」、10日（日）に第40回日本語教育方法研究会が東京大学で開催されました。菊地康人先生をはじめ、東京大学の皆さま、大変お世話になりました。

それぞれの詳細につきましては、このレターの各項をご覧ください。

次回の研究会は、2013年9月21日（土）立命館アジア太平洋大学（別府市）において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

### 20周年記念イベント

みんなで語ろう

『日本語教育方法研究』

2013年3月9日（土）、東京大学本郷キャンパスを会場として、日本語教育方法研究会 20周年記念イベント、みんなで語ろう『日本語教育方法研究』が開催されました。当日は145名もの方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

日本語教育方法研究会はその名の通り「日本語教育方法を研究する会」ですが、「日本語教育方法の研究とは何か」について、これまであ

まり議論されてきませんでした。そこで、20周年という節目を機会に、研究会での発表を通して教育方法を継続的に改善してきた事例を参考に、「日本語教育を研究するとはどういうことか」、「実践研究を継続的にやり教育方法の改善に繋げるために気をつけるべきことは何か」、「自分の実践や方法研究を振り返り、よかったところや改善すべきところはどこか」について参加者が対話し、自分なりのチェックリストを考えようと企画されたものです。

当日は、東京大学日本語教育センターの菊地康人先生からの開会のご挨拶に始まり、教育プログラム、教育コンテンツ、教育ツールという三つの分野の実践事例が報告されました。引き続き分科会でも実践事例が紹介され、その後、事例紹介を参考に、上記の問いに対する答えを参加者一人ひとりが対話を通して考える時間がもたれました。三つの分科会すべてで非常に熱い議論が行われたとの報告がありました。最後の全体振り返りでは分科会報告に続いて、東北大学の才田いずみ前会長、東京工業大学の仁科喜久子元会長からも今後の研究会の発展を期待するメッ

セージをいただきました。このイベントにご参加いただいた方一人ひとりが今回の対話を通して考えたことを参考に実践を行い、教育方法の継続的な改善を行っていただければ、研究会としてこれほどうれしいことはありません。これからの研究会で新たな事例のご報告をよろしく願います。

最後になりますが、事例報告を快諾してくださった皆様、会場校としてご尽力くださった東京大学日本語教育センターの皆様には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。（衣川隆生）

### 開催を終えて

菊地康人

（東京大学）

20周年記念の、JLEM 史上初めての2日間にわたる大会を、2013年3月9日（土）・10日（日）に東京大学日本語教育センターで開催させていただきました。1日目は「教育方法の継続的改良の実践例を参考に、これからの日本語教育を考える」という記念イベントで、参加者一人ひとりが改めて日本語教育を考えるよい機会になったことと思います。2日目は通常の研究会ながら、発表件数が過去最多の57本ののぼり、これらが明日の教育を益するに違いないと感じさせられる熱気を感じました。

記念すべき大会に、限られた施設で対応しきれぬか、不行届きがないかと懼れておりましたが、盛況のうちに開催を終え、このような意義深い大会を開催させていただいたことを改めて深謝しております。企画・運営にあられた運営委員の皆様と、250人を超えるご参会の皆様にお礼を申し上げます。

### 次回開催にあたって 本田明子 (立命館アジア太平洋大学)

JLEMの第41回研究会を、立命館アジア太平洋大学(APU)で開催していただくことになりました。APUは、大分県別府市の山の上にあり、留学生と日本人学生がほぼ同数という国際色豊かな大学です。現在は世界80カ国・地域からの2500人の留学生と3000人の日本人学生が共に学んでいます。この山の上の別世界を学生たちは「天空」と呼び、市街地に降りていくことを「下界へ行く」と称しています。研究会の開催には不便な場所ではありますが、浮世を離れ、しばしの天空をお楽しみいただければ幸いです。

また、別府市は温泉で有名な観光地でもあり、風光明媚で美味しいものも豊富にあります。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

### 第1回 JLEM 優秀賞

前回のニュースレターでもお知らせしたとおり、第40回研究会より、その回の優秀な発表に対して賞を授与することになりました。これは、優秀な発表を顕彰し、受賞者の研究

の一層の発展を期するものです。運営委員から選ばれた審査者3名、および優秀賞選考委員会による討議の結果、栄えある第1回の優秀賞には、工藤嘉名子氏(東京外国語大学留学生日本語教育センター)の「1分スピーチに求められる『具体性』とは何か一問題解決型のスピーチの場合」が選ばれました。

工藤氏の研究は、「具体的である」と評価されたスピーチと「具体性に欠ける」と評価されたスピーチの比較分析を通して、1分間スピーチに求められる「具体性」の内実を明らかにしようとしたもので、課題設定の独自性・今後の発展性・ポスターの見やすさという優秀賞の基準をすべて高いレベルで満たしていました。

研究会2日目のポスター発表終了後の授与式では、川村会長から工藤氏に賞状と副賞(3000円)が手渡され、参加者からは盛大な拍手を浴びていました。

JLEMでは、今後も研究会ごとに毎回優れた発表に優秀賞を授与していきます。(俵山雄司)

### 運営委員会報告

運営委員会は、研究会の前日の3月9日(土)に東京大学において開かれました。22名の運営委員のうち、20名が参加しました。

今回の運営委員会で決まったことのうち、総会報告と重複しないことのみ、以下にご報告いたします。

#### ①運営委員の担当業務の交代

今期から会計および会員管理の担当を次の委員が引き受ける。

会計：鹿嶋彰氏、向井留実子氏  
会員管理：高橋亜紀子氏

なお、総会での承認後、篠崎大司氏も会員管理の業務を担当することに決定した。

#### ②運営委員の担当業務の任期

担当の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。再任の場合には1年単位で退任することも可とする。なお、退任後1年間は、オブザーバー役を務める。

#### ③会員管理について

a. 会員数が500名となり、会員管理の業務の軽減が不可欠となった。そのため、会員管理システムを導入する方向で考える。

b. 研究会当日の入会申し込みは、極力避ける形の案内を行う。

c. 研究会会場での現金の授受も可能な限り避ける必要があり、会費納入は、原則銀行振込にする。

(皆様、ご協力のほど、よろしくお願いたします。川村よし子)

### 総会報告

総会は3月10日(日)午前9時から今回の研究会の開催校である東京大学にて行われました。総会には100名近い参加者がありました。定足数(3月7日時点での会員総数489名の10分の1以上)を満たしていたため、総会として成立しました。すべての議案に関して、承認されましたので、ここにご報告いたします。

#### [報告事項]

##### 1. 会誌論文のCiNiiへの掲載

会誌論文のCiNiiへの掲載作業が完了し、会誌発行から1年以上経過した論文について無償公開が開始さ

れています。皆様、是非ご利用ください。

これによって世界のどこからでも会誌論文が閲覧可能な状態になりました。会員一人ひとりの研究成果を世界に向けて情報発信する流れが整ったといえます。また、それと同時に発表論文の質の高さも求められることとなります。英文アブストラクトについてもこれまで以上に配慮が必要となります。各論文の「要旨」を選択すると、英文アブストラクトが表示されます。英文は必ずネイティブチェックを終えたものをご提出いただけますよう、改めてお願いいたします。

なお、CiNiiに掲載されるものは、定期刊行物のみのため、10周年記念論文集の論文は掲載されませんので、ご了承ください。

## 2. 次回の研究会

次回の研究会は、2013年9月21日（土）に、立命館アジア太平洋大学で開催いたします。開催委員は、立命館アジア太平洋大学の本田明子委員です。多くの皆様の参加をお待ちしています。また、2014年の春は横浜国立大学での開催を予定しています。

## 3. 会費について

会計および会員管理の業務の軽減のため、今後研究会会場での会費の受け取りは、原則として行わない形にしたいと考えています。会費の納入は、ゆうちょ銀行への振込で行っていただけますよう、お願いいたします。

### [審議事項]

#### 1. 決算および予算について

2012年度決算および2013年度予算は原案通り可決されました。

## 2. 新運営委員について

新運営委員として、篠崎大司氏（別府大学）が運営委員会で選出され、総会で承認されました。

（川村よし子）

### ご連絡先をお知らせください

下記の方々の連絡先が不明となっております。ご存知の方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報ください。よろしくお願ひいたします。

尾崎ちえり 佐々木八寿子 土井みつる 楊帆 伊藤誓子 三好祐子  
李羽喆（敬称略、4月17日現在）

下記の方々は、40回大会で当日入会をされた方ですが、入会手続きが済んでいませんので、もしお知り合いの方がいらっしゃいましたら、恐れ入りますが、jlem-ml@tiu.ac.jp宛に以下の情報をお送りくださいますよう、お伝えいただければ幸いです。

- ・氏名（ふりがな）
- ・郵便物送付先の住所と電話・ファックス番号
- ・電子メールアドレス

湯麗敏 近藤裕子 寺崎信久 上原由美子 戸村佳代 大西香菜子 大越貴子 本間勇介 佐藤恵理 原貴子 三上聖子 イギユテ 藍木大地  
（敬称略、4月17日現在）

会費をお振り込みいただいた方で、以下の方のお名前が会員名簿で確認できておりません。お心当たりの方

は事務局までお知らせください。

・「カミヤ ケンジ」

2012年3月13日付 3000円振込み

・「カミヤ ケンジ」

2013年3月21日付 3000円振込み

（長谷川守寿）

### 住所等に変更がある方はお知らせください

JLEMでは、会誌の発送にクロネコメール便を利用しています。郵便は転居先へ届けるサービスがありますが、クロネコメール便ではお届けできません。住所変更の場合は、速やかに事務局までお知らせください。また、緊急時等にメールでご連絡差し上げることもありますので、メールアドレスを変更なさった方もご連絡ください。

### 事務局よりご連絡

#### ●会費納入について

6月末日までに2013年度の会費納入がない場合、9月以降の会誌の送付が中止されます。ラベルの納入年度をご確認ください。会費は年3000円です。

なお、7月以降にご入金いただいた方は事務の手続き上、ラベルの表示が前年度になっていることもありますのでご了承ください。

会誌発送の直前にご入金いただいた方は、事務の手続き上ラベルの表示が前年度になっていることもありますのでご了承ください。

1) 銀行のATMやネットバンキングを利用する場合：

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇一八 店（ゼロイチハチ店）  
金融機関コード：9900 店番：018  
預金種目：普通（または貯蓄）  
口座番号：6907651  
口座名：日本語教育方法研究会  
※ゆうちょ銀行に口座がある場合、  
送金手数料はかかりません。  
2) 郵便局より送金する場合：  
「電信払込み請求書・電信振替請求

書」（水色の枠のもの）を使用し、  
以下宛てにお送りください。

記号：10140

番号：69076511

加入者：日本語教育方法研究会

なお、上記振り込み方法は、ホーム  
ページの入会申し込みのページでも  
ご案内しております。

<http://3w.to/jlem>（新URL）

\* 海外からの会費払い込みについ  
ては、国際郵便為替でお支払いくだ  
さい。（金庭久美子）